

国際ロータリー第2520地区岩手第1分區

盛岡東ロータリークラブ

Weekly Report No. 25 (通算1998回)

Home Page : <http://www.moriokahigashi-rc.com/>

E-Mail : jimukyoku@moriokahigashi-rc.com

会長 原田誠章 / 幹事 佐藤百合子
事務所 〒020-8501 盛岡市愛宕下1番10号
盛岡グランドホテル内
TEL 019-601-5390 / FAX 019-601-5391
例会場 盛岡グランドホテル
TEL 019-625-2111
例会日 毎週月曜日12:30 / 第3月曜日18:30
但し、第3月曜日は(18:30～)会場が変更になる場合があります。

会長挨拶 原田誠章



皆さんこんにちは。
先週24日に盛岡市内会長幹事会がありました。

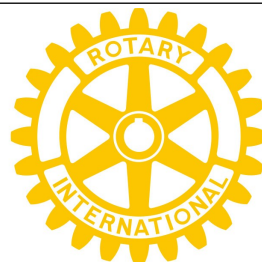
I・M開催にあたり、北ロータリークラブの実行委員の方々が2月に各クラブを回られるそうです。併せて市内8クラブの会長方々も是非訪問をしたいとの事です。暖かくお迎えしましょう。

次回会長幹事会は3月26日に盛岡南ロータリークラブが主催で開催の予定です。

本日は宜しくお願い致します。



Rotary



2024-2025年度テーマ



国際ロータリー会長 ステファニー A. アーチック
第2520地区ガバナー 佐藤剛(水沢RC)

昼例会

司会：瀧澤慶太郎
日時：2025.1.27(月) 12:30
会場：盛岡グランドホテル
ロータリーソング
四つのテスト
ゲスト 株式会社岩手ホテルアンドリゾート
人事部副本部長 佐藤賢司氏

次回プログラム

2月 3日(月) 理事会 11:30
昼例会
卓話 高橋耕会員
2月10日(月) 昼例会
卓話 高橋康介会員
2月17日(月) 夜例会 18:30
会場 樹里杏
2月24日(月) 天皇誕生日振替休日 休会

◇幹事報告 佐藤百合子

地区大会のご案内

4月18日(金)記念ゴルフ大会

会場：栗駒ゴルフ倶楽部

4月19日(土)諮問委員会 会長幹事会

RI会長代理晩餐会

会場：プラザイン水沢

4月20日(日)13:00～本会議

会場：奥州市文化会館

17:00～大会懇親会

会場：プラザイン水沢

加藤ガバナーエレクトより

『マリオ・セザール・マルティンス・デ・カルマゴRI会長エレクトを囲む会』でのご挨拶内容の速報

◇委員会報告 親睦委員会 工藤光機

家族親睦行事 いちご狩り開催について

例年通り提案

◇スマイル報告 佐藤百合子

佐藤百合子君

今日は宜しくお願い致します。

湯下さんありがとうございます。

佐藤賢司さん宜しくお願い致します。

瀧川誠君

今年初めて出席します！宜しく申し上げます。

湯下さん、ありがとうございました。

千葉伸行君

湯下さんこれまでありがとうございました。

佐藤賢司さん宜しく申し上げます。

遠藤先生、卓話宜しく申し上げます。

遠藤明哲君

湯下さん、ありがとうございました。

工藤光機君

湯下さん、ありがとうございました。

菅野輝明君

湯下さん、ありがとうございました。

◇出席報告 瀧澤慶太郎

会員数25名 出席数18名 欠席数7名 出席率72%

メークアップ

1/23市内会長幹事会 原田 佐藤百合子

個人寄付金 R財団 千葉

個人寄付金 米山記念奨学会 千葉

卓話 公認会計士 遠藤明哲

フジ・メディア・ホールディングスについての考察

このところ連日メディアを賑わせている(株)フジ・メディア・ホールディングスについて、その現状や問題点について考察してみようと思います。

収益構造について

同社には連結子会社の(株)フジテレビジョンを中心とするメディア・コンテンツ事業と、(株)サンケイビルを中心とする都市開発・観光事業があります。(それ以外にも人材派遣、動産リース、ソフトウェア開発などの事業を行っています。)2024年3月期の有価証券報告書のセグメント情報によれば、売上高はメディア・コンテンツ事業が都市開発・観光事業を大きく上回っていますが、利益はメディア・コンテンツ事業が15,706百万円なのに対し、都市開発・観光事業は19,537百万円と、逆転しています。

従って、メディア・コンテンツ事業において問題が生じ、赤字になったとしても、都市開発・観光事業の利益が下支えする構造になっています。

ちなみに鴨川シーワールドを運営する(株)グランビスタホテル&リゾートは、(株)サンケイビルの子会社です。

コーポレート・ガバナンスの状況

2024年3月期の有価証券報告書によれば、同社のコーポレート・ガバナンスの状況は次の通りです。

- ・過半数を社外取締役で構成する監査等委員会を置く
監査等委員会設置会社
- ・取締役17名中7名が社外取締役(うち監査等委員である社外取締役は3名)
- ・独立社外取締役が過半数を占め、かつ委員長を務める経営諮問委員会を設置(経営課題全般、取締役の選任・解任、取締役の報酬等について助言・提言)
- ・内部監査機能を高めるためにコンプライアンス推進室を設けている。

このように表面上は素晴らしい体制が出来上がっています。同社グループの取締役及び使用人等は、業務又は財務に重大な影響を及ぼすおそれのある事実を知った場合、職務遂行に関して不正行為、法令・定款・社内規程に違反する事実を知った場合又は社会通念に反する行為が発生する可能性がある若しくは発生した場合で、当該事実又は行為が重大である場合は適宜報告することになっています。今回の事案については、コンプライアンス推進室長も昨年12月まで発生を知らされていなかったとの報道もあり、適切に機能していなかった可能性があります。

以前の東芝の不正の件もそうですが、いかに体制が整っていても、実際に適切に機能しなければ、何の役にも立たないということです。

